

浅間神社 (小竹町一丁目)

「学生の街」とも呼ばれるにぎやかな江古田駅周辺も、昭和の初め頃までは、ホテルも飛ぶ田園地帯でした。(前号の鈴木氏のレポートに、その様子が書かれていました)

今では、当時の面影が全く消えてしまった様に見えます。しかし、ふだん何気なく通り過ぎていた裏道が、かつての水路の跡であったり、寺院の門前のお地藏様が古い伝説を秘めたものであったり、身近なものの中にも地域の歴史がしっかりと刻み込まれています。

さわやかな秋の休日の朝、身近にある史跡などを、講師の説明を聞きながら訪ねてみてはいかがでしょう。

# ねりまの文化財

史跡散歩に参加しよう  
 10月28日(日) 江古田駅  
 周辺を訪ねて

練馬区教育委員会  
 社会教育課  
 (文化財保護係)  
 ☎ 993-1111 内線 2766  
 〒176 練馬区豊玉北6-12-1

## 秋の文化財講座『戦国時代の武将たち』

— 北条氏照を中心として —

11月20日(火) 練馬公民館で講義

21日(水) 八王子市郷土資料館

国指定史跡 滝山城跡

講師 土井義夫氏 (東京学芸大学講師)

◎申し込みは往復葉書で。詳しくは、区報11月1日号をご覧ください。

★ 日・時 10月28日(日)午前9時30分

12時(雨天の場合は11月3日

〈土〉に延期)

★ 集合場所 浅間神社境内(江古田駅北口)

★ 参加方法 当日受付(午前9時~9時30分)

★ 参加費用 1人50円(保険料)

(コース紹介) 浅間神社と江古田富士塚↓

旧水路↓小竹図書館・力行会↓八雲神社↓庚

申塔↓「同潤会」分譲地付近↓能満寺↓千川

通り↓埼玉道↓武蔵野稲荷神社↓武蔵大学内

「濯川」↓区立北新井公園

(濯川) この水路は、千川上水の分水で、

通水が停止されて、「ゴミ捨て場と化していた

ものを、武蔵大学や同窓会の人々の手で、復

活(還流式)したものです。(雨天で、11月

3日に延期のときは、大学の文化祭のため、

濯川の見学が中止となります。)

# 文化財(民家)の巡回調査から

文化財保護推進員 石井 薫

当区では、10名の文化財保護推進員が区内を10地域に分け、1人1地域の担当で、文化財の保護推進に当たっています。

今回は、主として民家の巡回調査について報告いたします。

私の担当地域は、南大泉・西大泉・大泉学園町です。12軒のお宅にお伺いし、嘉永6年(1853)建築の主家等6戸・幕末期に建てられた土蔵等3棟・明治初期の藍小屋等7戸・合計17の家屋の保存状況について調査を行いました。

その結果、主屋では既に取り壊して新築した家4戸・土蔵3棟はそのまま保存されていますが、藍小屋等3戸が取り壊されています。



取り壊したお宅で、お話を伺いますと、「先祖伝来の貴重な建物であり、できるだけ守っていきたいが、現代の生活様式にマッチせず、家族も住みよい文化的な住宅を望むのではないが、取り壊して新築した」また他のお宅では、「藁屋根等残しておきたくても、材料である茅が手に入らず、屋根葺きの職人もいなくなり、止むを得ず改修せざるを得なかった」。「藍小屋や堆肥小屋等必要もなくなり、維持するのも困難である」等々……しみじみ話されました。また、現状保存されているお宅では、「自分の目の黒い中は維持していくつもりだが、代がかわればわからない。また、区に寄贈してもよい。」等申されておりました。

どのお宅の家屋も、二度と得られない由緒ある貴重な文化財です。この貴重な文化財が区内から年毎に消えていきます。私達は、この郷土の文化財を何としても後世に残すよう工夫と努力をしていかななくてはならないと思います。

そのために現在考えられることは、寄贈して頂ける家屋の代表的なものは、区でどこか一カ所に移築し「練馬の民家園」として永く

大切に保存していくことが最良の方法だと思います。

これを実現させるのには、どうしても行政の力と区民の皆さんのご理解が何よりも必要なことです。一日も早い実現をめざして共に頑張りましょう。

## 11/1～7 文化財保護強調週間

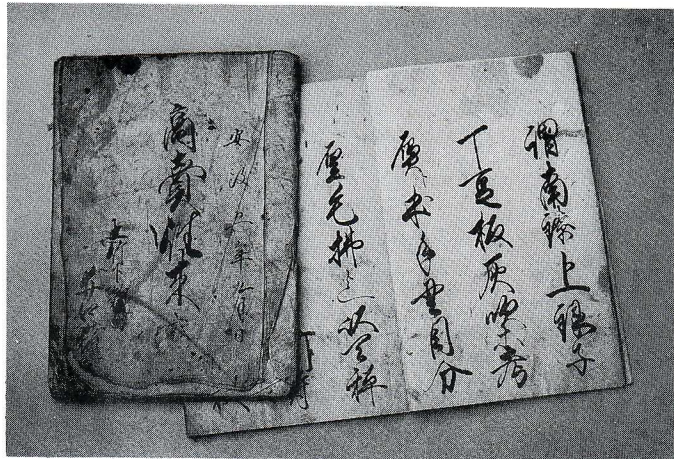
かけがえない郷土の文化遺産、文化財を積極的に保護し、後の世代に伝えてゆくことは、現代に生きる私たちの責務です。文化庁が主唱する「文化財保護強調週間」には、全国で文化財愛護の催しがおこなわれます。

### 小島家文書(練馬区指定有形文化財)を

#### 郷土資料室で展示

江戸時代土支田村の名主を務めていた小島家(旭町1-29-16・小島兵八郎氏)の文書は、まとまって伝存している区内最大級の貴重な古文書群です。今回、区に寄託をいただきましたので、10月11日(木)～11月11日(日)まで広く皆様に見ていただきたく、その一部を展示します。





習字手本としても用いられた往来物

# 東早淵遺跡発掘体験教室を開催

ひがしはやぶち  
8月8日、早宮1-24の東早淵遺跡で行いました。

機会を利用して一日発掘体験教室を、教育委員会が実施しました。

この場所は、開発に先立ち、6月28日から本格的な発掘を実施していた場所です。この

当日は、猛暑にもかかわらず、小・中学生から60歳代の老若男女約50名が参加し、平安

## 郷土資料室

### 収蔵品シリーズ

# 家塾の教科書

近世・近代を通じて練馬区域での教育のはじまりは、幕末ころに地域の寺院や一部厚志家の家に付近の子供たちを集めて行われた寺子屋式の家塾であった。

家塾における学習の概要を「開学明細調」「家塾開業願」に見ると、安塚祐監塾(下石神井村)では、学科として「筆道」、習字として「人名尽」国名尽、東京往来、商売往来、消息往来、農業往来、庭訓往来」とある。他の家塾を調べてみても、学習は筆道(習字・書道)が圧倒的に多く、家塾の大半は手習塾であった。初歩のうちは先生が「手本」を書き、それが教科書がわりになった。学業が進むと庭訓往来に代表される、いわゆる「往来物」などが教科書として使われていた。

すなわち、身近な親兄弟の名前から近隣のこと(東京往来)商売のこと(商売往来)手紙の書き方(消息往来)農業のやり方(農業往来)暮していく心がまえ(庭訓往来)など生活にすぐ役立つ実学的な内容であった。

時代の住居を調査員の指導のもと発掘しました。

発掘開始後一時間程して、平安時代の壺形土器が発見され、記念写真を撮ったり、様々な質問が出て、古代に触れる一時を過ごしました。

## 雨にも負けず

### クイズウォークラリー実施

9月16日、雨の中「クイズウォークラリー」を石神井公園で実施しました。参加者の投稿を紹介します。

#### 「雨の中のウォークラリー」

雨にもめげず、昨年に続き二回目の参加をしました。雨の日の石神井公園も落ちついて良いものです。よく知っているつもり石神井公園でも、クイズポイント、スタンプポイントをさがしながら歩くのは、新しい発見があります。友人達とおしゃべりをしながらゆつくりと歩きました。途中で次のグループに越され、影も形も見えなくなり、あせって最後は早足で歩きました。

ゴールに着くと採点表があつて、クイズの正誤を自分達で採点します。また、所要時間が長すぎても短かすぎても減点されます。私(4頁下段へ)

練馬区登録無形民俗文化財

# 関のボロ市 せき いち

▼場 所 関町北4-16-3 本立寺門前

▼交通機関 西武新宿線 武蔵関駅北口

「関のボロ市」は、毎年12月9日と10日に本立寺のお会式えいしきに伴いたつ市で、お会式の市とも呼ばれています。江戸時代に始まったと伝えられ、昭和の初め頃には、正月用品や農具が売られていました。

一時中断しましたが、戦後復活し現在は、刃物や植木などを売る露店が20軒以上並び地域の年中行事として賑っています。

平成2年2月練馬区登録無形民俗文化財と

して登録しました。

(解説) お会式は、法会ほうえの儀式で、特に日蓮宗では宗祖の忌日に営む法会です。区内では妙福寺(南大泉5丁目)や、本覚寺(旭町1丁目)をはじめとする日蓮宗の寺院で行われています。又、お会式の際に万燈行列や露店が立ち、年末の年中行事として地域住民に親しまれているものもあります。この他に、年末の「酉とり」(11月4日・16日・28日)の日には、大鳥神社(豊玉北5丁目、石神井町3丁目)で祭礼があり、「酉とりの市」が行われます。

## 文化財日誌

(平成2年7月1日～9月30日)

〈7月〉

- 14日 古文書調査(町田家)
- 23日 東京外かく環状道路練馬地区遺跡調査会 役員会

24日 埋蔵文化財立会たがひ(貫井四丁目)

25日 〃(石神井台七丁目・東大泉四丁目)

古文書調査(横山家・新井家)

25日～28日 練馬白山神社大ケヤキ調査

〈8月〉

- 8日 東早淵遺跡発掘体験教室
- 13日～15日 埋蔵文化財試掘(練馬二丁目)
- 21日 古文書調査(荘家)
- 25日～26日 練馬白山神社御興等記録撮影
- 30日 練馬白山神社大ケヤキ保護対策検討委員会 (第2回)
- 〈9月〉
- 4日 文化財保護推進員会(第2回)
- 8日 中村雛子記録撮影(中村八幡神社)
- 10日 文化財保護審議会(第2部会・視察)
- 16日 文化財ウォークラリー(第2回)
- 17日 文化財保護審議会(第1部会・視察)
- 27日～29日 広徳寺所蔵品内容把握調査



9月16日 雨の石神井公園で、文化財ウォークラリーを“決行”しました。

達は三分早く、あせつたのを反省しました。問題は十五問ありました。自分一人では正解できなかったかもしれませんが、友人同志得意の分野で意見を言ったので、何とか正解できました。クイズの問題と解答のプリントをもらい、家に帰ってこれを読みますと、クイズをぶらさげてあった木をはじめ、石神井公園の風景がありありと目に浮かんできました。

この楽しいウォークラリーを来年はもっと多くの人に体験していただきたいと思えます。

練馬区在住 匿名希望

〈編集後記〉 来年はきっと晴れてほしい！

参加者のためにも………

担当のスタッフのためにも！

(風邪をひいてしまった職員のツブヤキ)